

# 審査講評

第85回大分県畜産共進会  
肉牛の部（令和6年10月5日）

第85回大分県畜産共進会、肉牛の部の審査が皆様のご協力により無事終了したことに對しまして、審査委員を代表して心からお礼を申し上げます。

これより審査講評を行わせていただきます。枝肉の審査につきましては、(公社)日本食肉格付協会の牛枝肉取引規格を基準として行いました。

まず、黒毛和種ですが36頭について審査を行いました。

枝肉格付けの平均値は、A率100%、枝肉重量523.0kg、ロース芯面積76.4cm<sup>2</sup>、バラ厚9.3cm、皮下脂肪厚2.74cmであり、昨年に比べ、ロース芯面積とバラ厚で成績が向上しております。

次に肉質ですが、4・5率は97%、BMS No.の平均は9.7でした。これは昨年の10.2に比べ、0.5ポイント減少する結果となりました。

「脂肪の質」に關しまして、美味しさの指標の1つとされるオレイン酸含有値の平均は54.3%で、昨年に比べて0.4ポイント向上しています。

この中から、最優秀賞首席に關しましては出品番号37号の豊後大野市、後藤泉さんの加代白清の産子である「清美号」に決定しました。

成績については、ロース芯面積は113cm<sup>2</sup>、バラ厚10.8cm、皮下脂肪厚1.9cm、BMSNo.12でした。特筆すべき点は枝肉重量が637.7kg、歩留まり基準値81.6と出品牛の中で最も素晴らしい枝ぶりであることに加え、BMS、ロース芯についても全体1位と、枝ぶり、肉質とも申し分ない成績であることから最優秀賞首席とさせていただきます。

また、出品番号38号は、枝肉重量561.6kg、歩留まり基準値78.6、BMSNo.12、ロース芯面積82cm<sup>2</sup>と首席に劣らず小ザシの整った素晴らしい枝肉でありましたが、僅差で2席とさせていただきます。

次に、特別賞である「脂肪の質賞」ですが、オレイン酸含有値が59.5%と出品牛の中で最も高かった出品番号40号の中津市、尾道一太さんの葵白清の産子である「白照号」に決定いたしました。

次に、2区の交雑種去勢牛は9頭の出品でした。

9頭の平均値は、枝肉重量565.9kg、ロース芯面積63.6cm<sup>2</sup>、バラ厚8.9cm、皮下脂肪厚3.3cm、BMS No. 5.3であり、昨年と比較しロース芯面積、バラ厚、皮下脂肪、BMSNoで改善が見られました。

そうした中で、今回の最優秀賞首席は、出品番号43号の豊後高田市、<sup>やの</sup>矢野<sup>やすのり</sup>康紀さんに決定いたしました。

この枝肉は枝肉重量533.0kg、ロース芯面積92cm<sup>2</sup>、バラ厚8.6cm、皮下脂肪厚2.7cm、BMSNo. 9であり、格付けがA5と今回の出品牛の中で最高値であり、歩留や肉質において優秀な成績となっていたことから最優秀賞首席とさせていただきます。

今回、受賞されました方におかれましては心からお祝い申し上げますとともに、惜しくも受賞を逃された皆様方におかれましても、日頃から飼養管理技術の向上に努められていることに対しまして敬意を表させていただきます。先程ご報告させていただきました通り、昨年に比べ、ロース芯面積、バラ厚の成績が向上する等、確実に皆様方の日頃の努力の成果が結果として出てきております。本日の共進会を一つの契機として、より一層の技術向上に努めていただきますようお願いして審査講評とさせていただきます。

令和6年10月5日

第85回大分県畜産共進会肉牛の部

審査委員長 里 秀樹



# 審 査 講 評

第85回大分県畜産共進会  
肉用牛の部（令和6年10月19日）

特別賞審査について審査講評をさせていただきます。

農林水産大臣賞には、第6区繁殖雌牛群に出品いただいた48号49号牛、久住町 清水 蔵人 さん出品の「じゅらん」「じゅじゅ」に決定いたしました。この牛群については、発育体積・均称に優れ、品位に富み、体上線のしっかりとした種牛性に優れた牛群で斉一性があることに加えて、肩付の欠点が大幅に改善されており、母から子への改良の成果を確認することも出来ました。今後も、大分らしい発育体積を維持しながらも種牛性に優れた雌牛たちを地域に保留し育てていくという意味において、モデルとなる出品群であったことから、農林水産大臣賞に選ばせていただきました。

次に、九州農政局長賞には、第1区若雌の1に出品いただいた8号牛、久住町 大窪 政二さん出品の「ゆりもみじの3」に決定いたしました。この牛は、発育体積・均称に優れ、品位に富み、輪郭鮮明で体上線は強く種牛性に優れた牛であり、若雌らしいいきいきとした雌牛でありました。大分らしい種牛性の高さを評価し、九州

農政局長賞に選ばせていただきました。

最後に、部位賞には頭頸賞として、第4区女性・後継者の部に出  
品いただいた44号牛、竹田市 内田 幸則さん出品の「きんせ1  
82の1」に決定いたしました。この牛については、飼育技術の一  
環である矯角による和牛らしい輪郭鮮明さを持ち合わせ、若雌らし  
い品のある頭頸であったことから、選ばせていただきました。

本日の共進会における取組の成果を生かし、地域に根付かせ、第  
13回全共での優秀な成績を目指して取り組んで頂けるようお願い  
いたします。以上で審査講評とさせていただきます。本日はありが  
とうございました。

令和6年10月19日

第85回大分県畜産共進会 肉用牛の部

審査委員長 里 秀樹 